

## 高齢者のための やさしい防災講座

2.12  
wed

災害による犠牲者を出さないため、市・県・福岡管区気象台の共催で、「災害への心がまえと避難行動」と「気象情報の収集と活用」に関する講座を開催しました。

講座では「普段から地域とつながることや、情報を共有することが命を救う」「地球温暖化で、一度に降る雨の量が増えている。ハザードマップで、それぞれの地域の特性を確認してほしい」と話があり、参加者から「自分にできることから始めたい」などの声が聞かれました。市は、今後も同様の研修会を行っていきます。積極的にご参加ください。



## 初出場で九州大会 2 位 全国大会に向け決意新たに

3.6  
fri

市内のチアダンスチーム「ディー」の小学4年～中学2年生の10人で結成されたチーム「クリスタル」と、小学生7人編成の「トパーズ」が、九州大会で2位という好成績を収め、全国大会への出場を市長に伝えました。

初出場となる大会に向けて、9月から日々練習に励んできたメンバーたち。時には、泣きながら話し合いの場をもち意識統一を図るなど、結束力を高めてきました。8月の全国大会に向け、「一体感のあるダンスを磨き上げ、私たちらしいダンスを楽しみたい」と意気込みを語り、市長は、「皆さんの活躍が楽しみ」と、激励の言葉を贈りました。



## 小郡市出身の プロボクサーが誕生しました

ボクシングで高校インターハイ優勝などアマチュア8冠(全国高校5冠、国際大会3冠)を果たした中垣龍汰朗さん(20歳、小郡小出身)が、1月にプロへの転向を市長に報告しました。

中垣さんは高校時代、タイトルを次々と獲得。昨年はけがで苦しみましたが、メンタル面でのけがとの向き合い方を学んだと話します。

今後の目標を尋ねると、「まずは日本と東洋太平洋のタイトルを獲り、最終的には世界チャンピオンをめざす」と意気込みを語りました。

※3月4日(水)、中垣さんはプロテストに合格しました。早速、5月28日(木)に東京でデビュー戦が行われる予定です



## 小郡市消防団が 水防功労者表彰を受賞

2.17  
mon

令和元年7月豪雨での活動が評価され、小郡市消防団が国土交通省九州地方整備局から水防功労者表彰を受けました。

この表彰は、九州内で水防に関する著しい功績があり、他の模範となる団体や個人に対して授与されるものです。

小郡市消防団は令和元年7月豪雨の際に、市内巡視や避難誘導のほか、浸水により孤立した園児たちの救出、道路陥没箇所での転落防止処置などの活動に尽力しました。



## 難病を乗り越えて聖火ランナーに！



東京オリンピックの聖火リレー走者に選ばれた内野博己さん(古飯)にお話を聞きました。

中学から陸上競技を始めた内野さんは、50歳のときに視野が狭くなってゆく難病を発症。それでも「諦めずに何でも挑戦したい」と陸上を続け、平成29年の全国障害者スポーツ大会の1500mと200mの40歳以上の部で優勝。平成30年からは視覚障がい者と健常者が一緒に走る「おごおり天の川ふれあいマラソン」を主宰しています。

リオデジャネイロパラリンピック女子マラソン銀メダリストの道下美里選手とは10年来のランニング仲間だという内野さん。道下選手とは、定期的に練習しており、2月の別府大分毎日マラソンで世界新記録を更新した道下選手を見て勇気づけられ、リレーでは「自分も頑張りたい」という気持ちを新たにしました。

内野さんは、娘さんの伴走でリレーを走る予定です。伴走者と内野さんをつなぐ紅白のロープ「きずな」は、視覚障がいのあるランナー仲間から贈られた手作りの品。「支えてくれる人への感謝を忘れず、自分と同じ障がいのある人を勇気づけたい」と語ってくれました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、各地での聖火リレーの詳細は今後決まっていく見通しです。一日も早く感染症が終息し、内野さんの聖火ランナーとして走る姿が見られることを願ってやみません。

## 権威ある全国大会で映えある優秀賞を獲得

3.11  
wed

平岡調理・製菓専門学校を3月に卒業した生徒3人が、コンクールの全国大会最優秀賞受賞を市長に報告しました。

第35回調理技術コンクール全国大会の日本料理部門で文部科学大臣賞に選ばれた外間勝史さん、また同部門の農林水産大臣賞受賞を果たした宇根底舞さんは、それぞれ春をテーマに、見た目も美しい創作料理が評価されました。また、一ノ瀬菜央さんは、紅茶を使った香り高いチョコレートケーキで、第12回製菓衛生師養成施設技術コンクール全国大会1位の自由課題優秀賞を獲得。ケーキは学校内のカフェレストランでも販売されます。

